

一般質問

質問者

久保田 裕一 (市民の風)
 園田 基博 (創志会)
 山之内 肇 (公明クラブ)
 渡辺 恒 (日本共産党議員団)
 辻 正男 (いちえ)
 工藤 英人 (創志会)
 河原井 始 (クラブ21)
 福島 賢一 (桐政会)
 人見 武男 (創志会)
 伏木 康雄 (市民の風)
 周東 照二 (公明クラブ)
 佐藤 幸雄 (創志会)
 関口 直久 (日本共産党議員団)
 田島 忠一 (いちえ)
 岡部 純朗 (桐政会)
 飯島 英規 (市民の風)

3月17日(木)・18日(金)の2日間にわたり、16人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の後のカッコ内は所属党派名

北関道へのアクセス道路整備

久保田 裕一 (市民の風)

質問 道路整備の進捗状況と新里地区の通過予定ルートは把握しているのか。

答弁 県道大間々世良田線笠懸敷塚工区バイパス事業は太田敷塚インターチェンジとみどり市笠懸町西鹿田地内を結ぶ計画であり、進捗率は平成26年度末時点で、約65パーセントである。また、国道五十号バイパス前橋笠懸道路以北のルートは決まっていないが、西鹿田付近から新里町新川付近

を通過し、国道122号線の旧大間々警察署付近に接続するルートを構想しており、引き続き整備要望していきたい。
 (太田敷塚インターチェンジ)



川内町三丁目B団地跡地

園田 基博 (創志会)

質問 桐生市住宅マスタープランに川内町三丁目B団地跡地にクラインガルテン型コーポラティブ住宅(小さな農園付の共同住宅)整備が計画されているが、計画が進んでいない理由は。

答弁 首都圏での事例から見ても、入居希望者を募り組合組織を形成するため、入居までに非常に長い時間を要することが懸念される。今後は、川内町一丁目A団地跡地のような分譲や民間

活力を利用した分譲などもひとつの選択肢として捉え、社会・経済情勢の変化を見極めて、有効な土地利用を検討していきたい。
 (川内町三丁目B団地跡地)



公民連携の推進

山之内 肇 (公明クラブ)

質問 公共施設の再編、更新については、当市の大

(桐生市役所)



きな課題である。従来型の公共事業ではなく、公共施設の集客力を民間事業に変換し収益を生み出す、補助金に頼らない公民連携の手法は、当市の今後の公共施設の整備において大きなプラスとなると考えるが。

答弁 公民連携の必要性については、十分認識している。民間の資金や創意工夫を取り入れた公民連携を推進するための指針が内閣府から示されたので、これを参照しながら既存の手法や先進的な事例など積極的に研究していきたい。

子育て・教育に関する経済的支援

渡辺 恒 (日本共産党議員団)

質問 山形大学の准教授の調査では、全国平均で子供の貧困は13・8%。群馬

県では10・3%と示され、10人に1人が貧困状態と示されたが、貧困対策を国・

県だけに任せるわけにはいかない。市独自の取組が必要と考えるが、桐生市はどう考えているか。

答弁 国から示されている基準等はなく、市全体としての貧困状況は把握していない。各法律、制度等に

基づき、担当部署が軽減又は減免、あるいは給付等の支援を行う対象者を個別に特定し、対応しているので、ご理解いただきたい。

(桐生市役所)



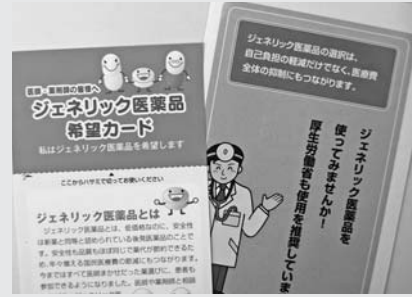
ジエネリック医薬品

辻 正男(いちご)

質問 桐生市の国民健康保険加入者がジエネリック医薬品に変更した場合、国民健康保険からの薬価負担の軽減見込み額はどのくらいになるのか。

答弁 当市国民健康保険では、自己負担の削減効果額が200円以上の被保険者を対象にジエネリック医薬品促進通知を年2回送付している。その対象者は、平成27年12月診療分の実績で2187人となっており、

仮にこの通知対象者全てがジエネリック医薬品に変更した場合、1か月で約529万円の削減効果額が見込まれる。
(ジエネリック医薬品希望カード)



奨励金と報償金の支給対象拡大

工藤 英人(創志舎)

質問 桐生市スポーツ・文化参加奨励金の支給対象は全国規模以上の大会に出場した個人や団体に限定されており、報償金の支給対象はスポーツ活動のみに限定されているため文化芸能活動には支給されないため、保護者の負担軽減のため、支給対象を拡大しては。

答弁 報償金は一部の関東大会などを対象に社会体育事業について支給しているが、桐生市スポーツ・文

化参加奨励金は全国規模以上の大会出場を対象としている。奨励金の支給対象拡大については、今後の研究課題としたい。
(部活動に励む生徒たち)



「機音村構想」再考

河原井 始(クラブエ)

質問 昭和52年に郷土文化誌「月刊・上州路」に掲載された機音村構想について、国の重要伝統的建造物群保存地区の指定を受け、歴史的な資産を生かしたまちづくりに取り組む桐生市は、機音村構想に学ぶものが多いと考える。この理念をもとに、様々な事業を推進してきたと思うが、この理念をどのように後世に伝えていくか。

答弁 構想から約40年が



(織物会館旧館)

経過するが、あらためて市民や若い職員にも機音村構想が認識されると思うので、今後もその精神を引き続き伝えていきたい。

放課後児童クラブの運営

福島 賢一(桐政舎)

質問 放課後児童クラブ設置運営マニュアルの全面(放課後児童クラブ)



改正については評価しているが、再検討しなくてはならない課題も見受けられる。また、運営主体をNPO法人等に委託する将来的な見解は。

答弁 今回のマニュアル改正により利用者の利便性の向上が実現され、これは大きな前進であると捉えているが、今後も各項目の実施状況や有効性を確認しながら、必要に応じて修正を行っていききたい。運営主体をNPO法人等に委託することについては、今後研究を深めたいと考えている。

有害鳥獣対策

人見 武男(創志舎)

質問 桐生市独自の食害対策について。

答弁 地場産業である織(獣害防止ネット)



維産業の技術を活かし、ニホンジカによる食害の防除製品を開発・研究しており、市有林である梅田町一丁目城山や菱町二丁目西ノ入などに、総数1100本の当該製品を試験的に設置し、その防除、耐久機能の経過観察を行っているところである。

また、今年の1月からは、新たにツキノワグマやニホンジカによる成木の剥皮被害対策としてのネットの開発協議が開始され、現在、試作品の製作が行われているところである。

企業誘致戦略

伏木 康雄(市民の風)

質問 企業誘致は、大企業や工場ではなく市内の新サービスも含め創業意欲を推進するような企業にこそターゲットを絞るべきである。当市の企業誘致戦略の帰結は、徹底した創業促進に置くべきと考えるが市の見解は。

答弁 大企業に限らず桐生の産業基盤に合った多様な企業が集積することで地域経済が活性化すると考えている。今後もインキュベ



ーションオフィスの利用促進や新たに展開するIoT技術活用によるまちづくりにおいて創業促進を図り、事業を推進していきたい。
(桐生市インキュベーションオフィス)

市営住宅入居資格と承継

周東 照二（公明クラブ）

質問 入居資格の裁量階層世帯である「同居者に小学校就学前の子どもがいる世帯」を、「高校を卒業する前までの子どもがいる世帯」に変更し、支援の拡充を図ってはどうか。

答弁 子育て日本一を目指す本市として、対象範囲を広げた場合の影響などを研究し、検討していきたい。
質問 入居承継の年齢要件は60歳以上であるが、50歳代も承継できるように見

直せないか。

答弁 国の動向や社会情勢を見極め、県や各市の状況を確認しつつ、条件の見直しなどを研究したい。
（市営住宅）



下水道料金の統一

佐藤 幸雄（創志会）

質問 旧桐生地区と新里地区で下水道使用料金の差異があるなかで、下水道使用料金の統一と、今後の検討についての見解は。

答弁 平成32年4月から、水道事業と同様に下水道事業も公営企業会計に移行する予定である。公営企業会計は、受益者負担が原則で、下水道事業に係る費用は、下水道使用料で賄わなければならないが、下水道事業が存続するためには、適

（下水道工事の様子）



正な下水道使用料に基づく経営が不可欠となるが、旧桐生地区と新里地区との下水道使用料の格差については、早急に検討したい。

産業廃棄物処分場

関口 直久（日本共産党議員団）

質問 菱町の産業廃棄物処分場内で確認された硫化水素について、当局は発生の原因をどう捉えているか。

答弁 安定型最終処分場での硫化水素の発生については、国で専門家の組織する対策検討会が設置され、発生原因や対策等検討されている。これにより発生は基本的な仕組みは示されたが、今なお原因究明の証明は難しく今後も研究が必要なことから、当市の処分場

についても発生原因の特定は難しいと聞いている。しかしながら、周辺住民の安心安全を図るため今後も県と連携し対応していきたい。
（桐生市役所）



昭和橋について

田島 忠一（いちえ）

質問 今後の昭和橋の架け替えや補強工事について。
（昭和橋）



答弁 昭和橋は、昭和16年に架設された群馬県が管理している橋梁である。

群馬県では、橋梁の長寿命化や安全性の確保の考えから、橋桁の補強工事や桁断面の補修工事など適切な補修工事を実施している他に、5年に1回、専門業者による橋梁点検や、年に1回、職員による点検も実施していると伺っている。桐生市としては、昭和橋が老朽化しているため、今後も橋の架け替えや取付道路など、早期整備について強く要望していきたい。

市役所周辺の駐車場

岡部 純朗（桐政会）

質問 ハローワーク裏の駐車場は市職員が有償で借り受けているが、土日や祝日には利用できることを知らない市民が多い。市民に広く周知すべきと考えるが市の見解は。

答弁 市民文化会館等に使用申請する際に担当者から市職員駐車場を利用できる旨を周知し案内図も渡している。

質問 整備する考えは。
答弁 駐車場の区画を示



すロープが現在見えにくい状況であるため維持管理者である職員安全運転友の会が新年度に張替えを予定していると聞いている。
（職員有料駐車場）

重伝建地区の電線地中化工事

飯島 英規（市民の風）

質問 重伝建保存審議会での審議および地元住民への説明が不十分と考えられるが市の見解は。

答弁 重伝建地区の整備については保存計画に基づいて進められており、保存審議会でも審議を重ねている。また、地元の方々への説明は県と連携し、理解いただけるよう最大限努めてまいりたい。

質問 どの時代の風景を保存するのか。



答弁 当地区は一定の時代に特定することが難しいことから、保存審議会の意見を伺うとともに文化庁などと協議し検討したい。
（市内の重伝建地区）